（２）カメムシ防除作戦の展開

〔概要〕

令和６年度に多くの農作物でカメムシ類による被害が発生し、特に県南部の水稲や、果樹において収量の大幅な減少や品質の低下が見られました。そこで、令和７（2025）年に県と関係機関団体が一丸となってカメムシ防除作戦を展開し、発生予測から防除までの総合的な対策により、被害低減が図られました。

〔令和７（2025）年度の主な取組〕

①カメムシ防除対策の検討

農政部内にカメムシ防除対策プロジェクトチームを設置して、発生状況の把握や状況に応じた効果的な対策を検討しました。

②カメムシ防除対策会議の開催

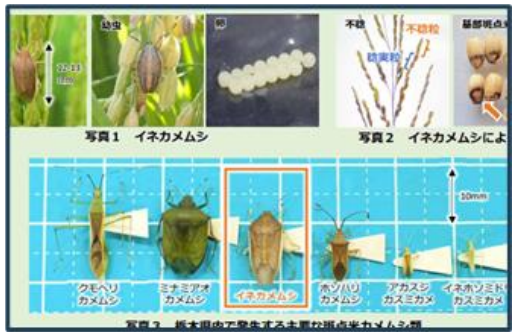
対策会議を年３回（５、７、12月）開催し、カメムシの越冬状況や発生状況、防除対策の周知の方法や内容などを関係機関・団体と共有し、共同防除等対策の徹底を図りました。

③カメムシ防除対策セミナーの開催

令和８（2026）年２月にセミナーを開催し、令和７年度の防除作戦の検証結果と令和８年度の対策について情報共有を図るとともに、愛知県農業総合研究センター職員による講演を通じて、同一薬剤の連用を避ける取組の重要性を周知しました。



カメムシ防除対策セミナー
基調講演



カメムシ防除対策チラシ
（一部抜粋）